

“いじめ”についてみんなで考えてみませんか



宮崎県

「いのちを大切にする教育」

「全国いじめ問題子供サミット」に参加しました！

令和5年1月21日（土）に、文部科学省主催で、令和4年度「全国いじめ問題子供サミット」が、テーマ「いじめを絶対に許さない～いじめをなくしていくために私たちにできること」のもと開催されました。宮崎県からは、8月の県サミットで選ばれた、宮崎市立大淀中学校の生徒2名が県の代表として参加し、全国各地から参加した124名の小・中学生と、“いじめ”についてポスターセッションやグループ協議を行いました。

午前は、各学校のいじめ対策の取組について、ポスターセッションが行われ、全国各地の様々な取組が紹介され、質疑応答もありました。他県の児童生徒や先生方は、大淀中学校の取組に興味深く聞いており、今後の活動の参考にしたいと感想を述べていました。

午後は、グループ協議が行われ、以下の4つについて、活発な意見交換が行われました。

- 『誰かを「一生忘れられないほど」つらい気持ちにさせないために』
- 『つらい想いをする仲間をつくらないために』
- 『謝ることになった場合に大切にすること』
- 『見て見ぬふりをしないために』

いろいろな立場で、いじめについて考えるよい機会になったとの感想が聞かれました。

最後に、『どんな時でも、誰に対しても、私たちが大切にしたいと感じた想い』をメッセージにしました。いくつかを紹介します。

○一人じゃない、仲間をつくろう、自分を好きになろう、
みんなで一つの輪になろう

○いじめを許さないあたたかい環境を作ろう

○傍観者へ 声をかける勇気を持っているのはあなただけ
同じ想いをみんなが感じていることがわかり、いじめ問題への取組の必要性を強く感じたサミットとなりました。

◆全国各学校の主な取組◆

- ・いじめ撲滅宣言の作成
- ・異学年の交流機会の設定
- ・「いじめ」や「いのち」について考える集会の開催
- ・「ありがとう」があふれる学校づくり
- ・あいさつ運動やボランティア活動
- ・メッセージカードの作成



この全国サミットの様子は、後日、文部科学省公式YouTubeチャンネルによる配信も予定されていますので、ご覧いただき、ぜひ、本県の皆さんも、学級や学年、全校で“いじめ”について考える機会を設けてみてください。



↑サミット全体の様子



↑ポスターセッションの様子



↑協議の様子



↑協議の様子

児童生徒の皆さんが主体となった“いじめの未然防止”に取り組んでみよう！

宮崎県教育委員会では、毎年「いじめの未然防止に関する取組推進校」を指定し、取組を進めています。

各推進校では、本県が設定している、7月1日から7日の「いのちの教育週間」を中心に、各学校ならではの取組が行われています。

9月に、県内の各推進校の取組を紹介していますので、参考にしながら、ぜひ、皆さんの学校でも児童生徒が主体となった“いじめの未然防止”に取り組んでみてください。

＜いじめ防止のメッセージ＞

ストップ！

誹謗中傷・無関心・考えのない言動

自分がされたらどう思う？

いじめをしない 見逃さない

↑令和3年度の推進校7校の代表者で作成

◆ 宮崎市立大淀中学校が、
ポスターセッションで発表した資料です。



宮崎市立 大淀中学校

PBS について

- 達成したい大切にしたい **9** の目標
- 取り組み前後でアンケート
- 各種委員会がそれぞれ担当する

身の回りの課題
を明確にできる



全校生徒1人1人が
過ごしやすい環境に!!

あいさつ運動 + 一言

- ・生徒会が放送で呼びかけ
- ・生徒だけでなく先生も参加

会話が **増え**

相談しやすい環境に

思いやりの花

- ・お互いの良いところを書いて
班で交換
- ・クラスに掲示

自分や周りのことに気づく

いじめ防止標語

- ・学年のろうかなど、
見えるところに掲示

常に意識 + 身近な問題

<成果>

いじめを 身近な問題 として

とらえ、してはいけないという 雰囲気 や
周りに相談しやすい 状況 が 増えた

<課題>

取り組み外でも意識、インターネットのトラブル